



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 日本化学工業株式会社

コード番号 4092 URL <http://www.nippon-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 義博

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 佐藤 学

TEL 03-3636-8038

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	18,046	10.6	153	—	43	—	91	—
25年3月期第2四半期	16,320	△8.5	△553	—	△758	—	△843	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 294百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △1,014百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	1.04	—
25年3月期第2四半期	△9.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	56,279	24,409	43.4
25年3月期	57,756	24,115	41.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 24,409百万円 25年3月期 24,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の期末配当予想額については、未定であります。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	10.1	360	—	200	—	200	—	2.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	89,227,755 株	25年3月期	89,227,755 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,251,705 株	25年3月期	1,249,820 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	87,977,390 株	25年3月期2Q	87,979,425 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 平成26年3月期の期末配当予想額については、今後の業績動向をさらに見極める必要があり、現時点では未定であります。今後、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府、日銀主導による経済政策への期待感から円安・株高が進行し、企業の経営環境改善の兆しが見られたものの、輸入原材料の価格上昇や中国経済の成長鈍化、新興国の景気減速など、全体として厳しい事業環境が続きました。

このような環境下で当社グループは、業績の回復と事業基盤の安定化を目標とし、徹底したコスト削減や販売価格の引き上げなどを中心に収益構造の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は180億4千6百万円（前年同期比17億2千6百万円増）となり、経常利益は4千3百万円（前年同期は経常損失7億5千8百万円）となりました。

この経常利益に、投資有価証券売却益1億円の特別利益を加え、固定資産除却損4千5百万円の特別損失及び法人税等2千5百万円を差引き、更に法人税等調整額1千7百万円を計上した結果、四半期純利益は9千1百万円（前年同期は四半期純損失8億4千3百万円）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①化学品事業

化学品事業では、クロム製品は鉄鋼・めっき業界に需要回復の兆しは見えませんでした。日本電工㈱からの事業譲受が順調に進み、新規の得意先も増えた結果、売上高は増加しました。燐製品は液晶・半導体業界並びに電池関連業界の低迷が続く、売上高は大きく減少しました。シリカ製品は紙パルプ業界及び土木関連事業の受注が回復せず、売上高は減少しました。この結果、化学品事業の売上高は、86億8千1百万円（前年同期比5億4千万円増）となりました。

②機能品事業

機能品事業では、農薬は輸出向け中心に出荷が順調に推移し、売上高は増加しました。ホスフィン及びホスフィン誘導体は、海外ユーザー向けが伸び、売上高は増加しました。バリウム製品は液晶ガラス向け製品が伸び、売上高は増加しました。リチウムイオン電池用正極材料はスマートフォン向けの新グレードが大幅に伸び、売上高は増加しました。電子セラミック材料は電子材料部品の小型化と出荷の不振の影響を受け、売上高は減少しました。回路材料は中・小型パネル向けが順調に推移したものの大型パネル向けが不振の影響を受け、売上高は減少となりました。この結果、機能品事業の売上高は、72億1千1百万円（同17億1千万円増）となりました。

③賃貸事業

賃貸事業については、堅調に推移しました。この結果、賃貸事業の売上高は、2億5千6百万円（同0百万円減）となりました。

④その他

空調関連事業では、厳しい市場環境の下、需要回復が鈍く、新規設計・施工が減少しました。書店事業については、低下傾向にある業界動向が響き、僅かに減少しました。この結果、その他事業の売上高は、18億9千7百万円（同5億2千4百万円減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億7千6百万円減少し、純資産は2億9千3百万円増加しております。その結果、自己資本比率は41.8%から43.4%となっております。

増減の主なものは次の通りであります。

流動資産では、現金及び預金が3億2千4百万円減少し、受取手形及び売掛金が2億7千6百万円増加し、商品及び製品が4億6千9百万円減少し、原材料及び貯蔵品が2億5千9百万円増加しております。

固定資産では、有形固定資産が11億5千3百万円減少し、投資有価証券が2億6千3百万円増加しております。

流動負債では、支払手形及び買掛金が3億8百万円減少し、短期借入金が14億8千3百万円増加し、設備関係未払金が5億1千5百万円減少しております。

固定負債では、長期借入金が15億円減少し、リース債務が3億2千4百万円減少しております。

株主資本では、利益剰余金が9千1百万円増加しております。

その他の包括利益累計額では、その他有価証券評価差額金が1億8千4百万円増加しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、7億5千2百万円の収入（前年同期比7百万円減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益9千9百万円に対し、非資金損益項目である減価償却費14億8千1百万円、のれん償却額2億2千万円の他、売上債権の増加額2億7千6百万円、たな卸資産の減少額2億9千万円、仕入債務の減少額5億5百万円等、営業取引に係る資産負債の増減額を加減したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に設備投資により7億3千8百万円の支出（同4億9千4百万円減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済等により、3億4千6百万円の支出（前年同期は29億8千3百万円の収入）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億2千4百万円減少し、32億3千2百万円となりました。

なお、営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローと配当金を減算したフリーキャッシュ・フローは、1千4百万円の収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期累計期間連結業績は、スマートフォン向けのリチウムイオン電池用正極材料の出荷が予想以上に増加したため、機能品事業を中心に売上は増加いたしました。しかし昨年秋以降、為替レート（ドル円）が円安基調で推移したため、輸入原材料の価格上昇に歯止めがかからず、また国内での価格転嫁が思うように進まなかったことから、営業利益、経常利益及び当期純利益において前回予想を下回りました。

第3四半期以降、このような要因による影響は少なからず改善できると予想されますが、平成26年3月期通期業績予想につきまして、営業利益、経常利益及び当期純利益を修正いたしました。

なお、平成25年11月12日付「第2四半期業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて別途同様の公表をしております。

平成25年5月14日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (平成25年5月14日発表)	36,000	900	700	400	4.55
今 回 発 表 予 想 (B)	36,000	360	200	200	2.27
増 減 額 (B-A)	0	△540	△500	△200	—
増 減 率 (%)	0.0	△60.0	△71.4	△50.0	—
(参考) 前期 (平成25年3月) 実績	32,693	△1,396	△1,775	△6,989	△79.44

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,582	3,258
受取手形及び売掛金	8,946	9,223
商品及び製品	4,390	3,920
仕掛品	2,234	2,154
原材料及び貯蔵品	2,122	2,382
繰延税金資産	407	409
その他	672	724
貸倒引当金	△18	△15
流動資産合計	22,339	22,057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,026	30,041
減価償却累計額	△18,255	△18,649
建物及び構築物（純額）	11,770	11,392
機械装置及び運搬具	2,150	2,413
減価償却累計額	△1,135	△1,229
機械装置及び運搬具（純額）	1,014	1,184
土地	7,940	7,940
リース資産	7,009	6,991
減価償却累計額	△1,246	△2,165
リース資産（純額）	5,762	4,825
建設仮勘定	211	237
その他	6,070	6,138
減価償却累計額	△5,303	△5,406
その他（純額）	766	732
有形固定資産合計	27,466	26,312
無形固定資産		
のれん	2,053	1,833
その他	315	314
無形固定資産合計	2,368	2,147
投資その他の資産		
投資有価証券	3,855	4,119
長期貸付金	344	80
繰延税金資産	59	67
その他	1,630	1,804
貸倒引当金	△308	△309
投資その他の資産合計	5,580	5,761
固定資産合計	35,416	34,222
資産合計	57,756	56,279

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,385	4,076
短期借入金	7,808	9,292
リース債務	659	657
未払法人税等	54	27
未払消費税等	24	128
賞与引当金	224	236
設備関係未払金	1,012	496
その他	3,595	2,847
流動負債合計	17,765	17,763
固定負債		
長期借入金	2,500	1,000
リース債務	7,913	7,589
繰延税金負債	1,381	1,456
退職給付引当金	1,040	1,290
工場跡地整備費用引当金	1,240	1,240
その他	1,799	1,529
固定負債合計	15,875	14,106
負債合計	33,640	31,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,757	5,757
資本剰余金	2,269	2,269
利益剰余金	15,553	15,644
自己株式	△349	△350
株主資本合計	23,230	23,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	907	1,092
為替換算調整勘定	△21	△3
その他の包括利益累計額合計	885	1,088
純資産合計	24,115	24,409
負債純資産合計	57,756	56,279

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	16,320	18,046
売上原価	14,147	15,185
売上総利益	2,173	2,861
販売費及び一般管理費	2,727	2,708
営業利益又は営業損失 (△)	△553	153
営業外収益		
受取利息及び配当金	46	39
持分法による投資利益	—	9
その他	82	76
営業外収益合計	129	126
営業外費用		
支払利息	134	170
持分法による投資損失	6	—
その他	193	64
営業外費用合計	334	235
経常利益又は経常損失 (△)	△758	43
特別利益		
投資有価証券売却益	—	100
特別利益合計	—	100
特別損失		
固定資産除却損	58	45
投資有価証券評価損	89	—
事業再編損	347	—
特別損失合計	495	45
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,254	99
法人税、住民税及び事業税	31	25
法人税等調整額	△442	△17
法人税等合計	△410	7
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△843	91
少数株主利益	0	—
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△843	91

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△843	91
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△173	184
持分法適用会社に対する持分相当額	2	18
その他の包括利益合計	△171	203
四半期包括利益	△1,014	294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,015	294
少数株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,254	99
減価償却費	1,793	1,481
のれん償却額	—	220
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3	12
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△32	250
受取利息及び受取配当金	△46	△39
持分法による投資損益(△は益)	6	△9
支払利息	134	170
為替差損益(△は益)	2	△7
固定資産除却損	58	45
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△100
投資有価証券評価損益(△は益)	89	—
事業再編損失	347	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,009	△276
たな卸資産の増減額(△は増加)	△209	290
仕入債務の増減額(△は減少)	△650	△505
未払消費税等の増減額(△は減少)	△26	122
その他	△302	△825
小計	914	924
利息及び配当金の受取額	46	49
利息の支払額	△133	△173
法人税等の支払額	△78	△82
法人税等の還付額	11	34
営業活動によるキャッシュ・フロー	760	752
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,131	△1,029
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△45	△31
投資有価証券の取得による支出	△15	△2
投資有価証券の売却による収入	—	121
関係会社株式の取得による支出	△21	—
貸付けによる支出	△1	△0
貸付金の回収による収入	18	69
その他	△36	132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,232	△738

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△52	△16
長期借入金の返済による支出	△5,857	—
セール・アンド・リースバックによる収入	8,900	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5	△329
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1	△0
少数株主への配当金の支払額	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,983	△346
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,508	△324
現金及び現金同等物の期首残高	4,762	3,557
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,271	3,232

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,141	5,501	256	13,898	2,422	16,320	—	16,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	—	13	27	109	137	△137	—
計	8,154	5,501	270	13,925	2,532	16,458	△137	16,320
セグメント利益又は損失(△)	△51	△681	153	△578	14	△564	10	△553

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調関連事業及び書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,681	7,211	256	16,149	1,897	18,046	—	18,046
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	—	13	26	106	133	△133	—
計	8,694	7,211	270	16,175	2,004	18,180	△133	18,046
セグメント利益又は損失(△)	132	△223	165	74	68	142	10	153

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調関連事業及び書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結計算書の営業利益と調整を行っております。